
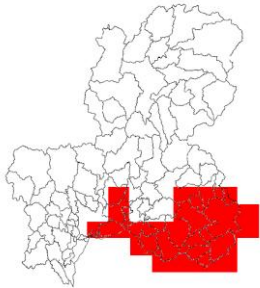


ミカワバイケイソウ	<i>Veratrum stamineum</i> Maxim. var. <i>micranthum</i> Satake	絶滅危惧Ⅱ類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		ユリ科
選定理由	集団と個体の数が急激に減少している。	<p>写真(高橋弘)</p> 
形態の特徴	根出葉の偽茎は長く、開花しない個体も高さ40-60cmになる。葉は長楕円形から広披針形、長さ10-30(-35)cm、幅4-12(-14)cm、下面は毛が密生する。花茎は80-150cm。花は総状花序に疎らにつく。小花柄は長さ8-20mm。	
生態的特徴	低湿地に生育する。花期は4月下旬から5月上旬。	
分布状況	日本に固有で、本州の東海地方に分布する。岐阜県では県南の東部と中部の、標高900m以下に見られる。	
減少要因	東濃地方に特有な低湿地の開発。	
保全対策	湿地の保全。	
特記事項	明るい湿原だけでなく、やや暗い湿地林にもある。	
参考文献		

文責:高橋弘